

品質マネジメントシステム

カシオでは、品質マネジメントシステムISO9001の考え方に基づく品質管理体制を構築しています。

また、商品の企画段階から、設計、評価、購買、生産、販売、サービスのプロセスチェーンで常にPDCAを実施し、品質の向上を図っています。

ISO 9001 認証取得一覧(抜粋)

| 区分 | 認証登録拠点 | 初版登録日 |
|------------|----------------|--------------|
| 開発本部 | システム統轄部 | 1999年 6月 25日 |
| 国内生産拠点サービス | 甲府カシオ(一宮事業所含む) | 1994年 8月 1日 |
| | カシオ電子工業 | 1994年 8月 5日 |
| | 山形カシオ | 1994年12月16日 |
| | 高知カシオ | 1996年 1月 12日 |
| | カシオマイクロニクス | 1996年 3月 29日 |
| | カシオテクノ | 2004年 5月 21日 |
| 海外生産拠点 | 韓国カシオ | 1994年 9月 15日 |
| | 香港カシオ(番禺工場を含む) | 1998年 7月 29日 |
| | カシオタイ | 2000年10月24日 |
| | カシオ電子シンセン官渡工場 | 2002年 3月 22日 |

新製品出荷開始決裁システム

新製品の出荷開始にあたり、企画、設計、評価、生産の各工程の品質責任者と品質統括責任者が、各工程を確認し、客観的なチェック(開発本部長・技術部長の確認)を踏まえ、新製品の出荷を決裁する仕組みです。

市場トラブル対応処理システム

市場で事故、クレーム、その他品質不具合が発生した際、その事案の内容、レベルに応じた情報ルートが決められており、迅速な対応に向けた判断のできる部署・責任者に速やかに伝達される仕組みを構築しています。また、発生した事案のその後の推進状況を、責任者を含めた関係者が Web サイト上で確認できる仕組みや、告知を含めた市場対応を審議決裁する仕組み、再発防止策を明確にする報告・周知の仕組みを整備し、発生した事案の迅速・的確な対応処理を実現しています。

品質情報支援システム

市場や生産の状況を信頼できるデータで定量的に分析して品質関係者に提供するとともに、法規制や社内規格・規則を周知するため、社内ネットワークを活用して品質 Web サイトを運用し、品質活動を支援しています。

製品の安全性確保に向けた取り組み

お客様に安心してご利用いただける製品を供給するためには、その安全性に万全を期すことが重要です。

カシオでは、製品規格のなかの1項目として「安全性規格」を設けるとともに、新製品の開発工程ごと、製品ごとに製品の安全性を評価する「製品安全責任システム」を構築し、全製品の安全性確保に努めています。

安全性確保のための専門組織としては、全社品質高揚委員会のもとに、電気安全規格およびEMC規格に対応する常設の委員会を設置し、専門スタッフが技術指導や業務支援を行っています。さらに、必要に応じて臨時委員会を開催し、ルール設定や情報交換を行っています。このような活動により、安全法規制などを順守しています。

品質保証活動の状況

2005年度の品質保証活動について、重点課題に対する実績概要をご報告します。

①顧客満足度向上に向けた取り組みの推進

お客様からの声を収集、分析して、改善すべき課題を明確に開発・設計部門にフィードバックして新製品の改善を図るとともに、改善した成功事例を社内に公開して、各品目が競って顧客満足度向上に努めるように活動しました。

②市場事故発生防止に向けた取り組みの実践

新聞紙上やTVで報道される事故を教訓とし、社内の設計方針・規格を再検証、見直しを実施するとともに、製品事故撲滅を合言葉に意識高揚と統一を図りました。

また、事故に繋がりがねない設計や製造上の不具合に対しては、積極的に情報開示してお客様の安全を第一に対応することを再確認しました。

③品質損失低減活動の実践

品質向上の指標ともなる品質損失低減に向け、各品目ごとに課題を持って取り組み、再発防止や未然防止の活動が有効に働いたこともあり、前年を下回ることができました。